■スロベニア：シャレツ首相、原子力発電所増設の必要性について言及

スロベニアのマリアン・シャレツ首相は 2019 年 8 月 22 日、同国唯一の原子力発電所であるクルスコ原子力発電所（PWR、69 万 kW）を訪問した際に、「スロベニアを今以上に発展させたければより多くのエネルギーが必要となるため、2 基目の原子炉の建設に対しあらゆる努力を注ぐ」と述べ、原子炉増設の必要性を強調した。政府は 2006 年にクルスコ原子力発電所 2 号機（100 万 kW）の建設を計画していることを発表したが、いまだ正式決定には至っていない。なお、同発電所 1 号機は 1983 年に運開され、当初 2023 年に閉鎖予定だったが、2013 年に 20 年間の運転期間延長が認可され、現在のところ 2043 年まで運転を継続する予定となっている。